

JAUW 茨城支部だより 2012年度-3号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2012年11月1日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部

ようやく、さわやかな風と心地よい陽ざしを感じる季節を迎えました。しばし、雑草と格闘した暑い日々を思い出しながら庭を眺めていると、改めて自然の優しさに感謝したくなります。

我が家の庭には昨秋ごろから、「さるなし」という蔓木に実が生り始めました。キウイフルーツの原種だそうで、猿が我を忘れて夢中で食べるので「さるなし」と命名されたと聞いています。親指程度の小さな実にもかかわらず、ビタミンやミネラルが大量に含んでいて、甘すっぱく、珍果だそうです。

秋も深まって、我が茨城支部でも実り多い成果が徐々に生まれてきています。支部先輩会員が女性の地位向上や高等教育の推進に活躍してきた歴史をアーカイブシリーズで聞き取ってきましたが、今年度末にはこの貴重な足跡を冊子にして残したいと若い井上会員から申し出があり、是非とも実行していきたいと考えております。先輩会員にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

又、現在進行中のお茶シリーズも、紅茶に引き続き12月に中国茶、1月には煎茶とお茶の文化を体感しながら、支部活動の歩みを多くの会員と共に進めていきたいと願っております。ぜひみなさまのご参加をお待ちしております。(今高 記)



定例会のお知らせ

“いばらきふれあいカフェ” シリーズNO.2

11月 「中国茶—本物を求めて山奥へ—」時には、芳醇な中国茶の香りにつつまれて、...

(12月実施)

“この9月に買い付けに行って、おいしい茶葉を手に入れました。茶葉や茶器についてのお話と試飲をいたします。”



講師 たかはし かすみ 高橋 仁美 様 「国際茶藝師」

国際茶業科学文化協会登録、台湾の上園茶荘の「林 鼎洲」に師事。年2回、台湾茶ファンの依頼を受け台湾へ茶葉を買い付けに行きながら、講演会、中国茶講座を開講。

◆日時 平成24年12月1日(土) 13:30~16:00

◆会場 土浦まちかど蔵 「野村」

(土浦市中央 1-12-5 ※隣りに無料駐車場あり TEL:029-822-0081)

◆会費 500円

*返信用ハガキにて、11月20日までにお申し込みください

1月 平成25年 新年会のお知らせ 川柳と煎茶への誘い

◆日時 平成25年1月19日(土) 11:30~15:00

◆会場 旬彩和食とう粋庵

(水戸市千波町 2755-1 ※会場前に駐車場あり TEL:029-305-7560)

◆会費 4,000円 (内訳:昼食3,500円 煎茶席500円)

<当日の予定>

11:30 会食 千波湖のほとりで心やすらくひとときを

13:30 川柳と煎茶をお楽しみください

15:00 解散

*返信用ハガキ、FAX またはメールにてお申し込みください
(水戸駅南口下車の方はお返事にその旨お書きください)



活動報告



9月定例会報告 2012年度本部シンポジウム参加

プログラム

基調講演Ⅰ 「男女共同参画社会に資する学校教育・大学とは」 東京学芸大学学長 村松泰子 氏

基調講演Ⅱ 「女性の政治参加、災害と男女共同参画」 前千葉県知事・元参議院議員 堂本暁子 氏

シンポジウム1 「男女共同参画社会と教育」 各委員会・各支部活動報告と意見交換

シンポジウム2 「女性の政治参加」 各委員会・各支部活動報告と意見交換



10月14日、日本女子大学 新泉山館において、「男女共同参画社会の形成と教育」をテーマとし、本部主催で開催されたシンポジウムに7名の支部会員が参加した。

午前中の基調講演Ⅰ・Ⅱで講師を務められた村松泰子氏、堂本暁子氏のお話は、それぞれの分野で長年積まれた研究・実践に基づき、身近で分かりやすく示唆に富んだものだった。

村松泰子氏は、学校教育において「男女平等を教える」「男女平等に教える」ことが必要と、「新しい男女平等教育」を提唱され、ジェンダーによる偏りに気づくための視点到鋭く切り込まれた。また、日本の女子大・共学大の試行的比較調査(2012年)によれば、大学教員の女子学生への期待度は、共学大より女子大の方が大きく、共学大に通う女子学生の周縁化が見られるとの報告は興味深かった。

堂本暁子氏は、東日本大震災の体験も含め、復興・防災に関する施策・参画には女性の視点が欠かせないと強調された。そして、災害時において、要援護者の女性(高齢者、障がい者、病人、妊産婦、外国人)や関わりを持つ女性(乳幼児の母、病人や高齢者の介護者)など、多様な女性の立場が求められ、女性の主体的参画と21世紀型連携の強化が必要と語った。最期に「平常時における男女共同参画社会の実現は、まさに災害に強い地域づくり」と結ばれたのは納得の一言だった。(牧野 記)

午後のシンポジウムは二つ。一つは「男女共同参画と教育」で、司会は教育委員の田中さん。縄田社会福祉委員長からは「福祉の関わる教育」、相良福岡支部委員からは「文献調査及び教科書比較から考える家庭科教育」、石塚神奈川支部会員からは「女子生徒に「ワーク」のお値段がわかる家庭科教育を！」という刺激的なタイトルで、それぞれ調査研究の成果についての発表があった。茨城支部会員で本部教育委員長でもある長田さんからは「家庭教育の役割—男女平等社会に向けて—」というタイトルで、現在茨城支部が関わっている「家庭科教育調査」の中から、教師の回答から見えてきた内容も合わせて報告がなされた。



家庭科教育に関しては来年度指導要領が改定され、時間数が減少する中で、こういった内容が盛り込まれるべきか、正念場であるとのこと。福岡支部や神奈川支部のキャリア教育、ワークのお値段といった、生涯賃金の男女差に焦点を当てた発言が興味深かった。

二つ目は「女性と政治参加」。司会は茨城支部会員で国際ネットワーク担当理事の城倉会員。五十嵐国内 NGO 委員長からは「全国地方議会女性議員へのアンケート調査から見えてくるもの」、広島支部長で財団法人広島県女性会議議長でもある吉村さんから「政治参加の多様性に向けて一県内女性議員への調査結果（広島県の男女共同参画をすすめる会実施）」から見えてくるもの、谷地森仙台支部長から「男女共同参画の視点を政治に」という内容で発表があった。吉村さんは元県庁職員だった経験から「パブリックコメント」を行政の言い訳にさせないために、採用されなかった内容についても、何故採用されなかったか、しつこく尋ねるなどして行政に意見を反映させるのも政治参加のひとつだと述べ、審議会でもきちんと発言をすることが大切だと主張、共感が持てた。また仙台ではあの震災がきっかけで男たちが大きなショックで立ち上がれないときに、女性が大きな力を発揮し、女性議員も増えたとの報告。しかし本部が実施した女性議員へのアンケート結果では、議会では「男女共同参画社会の推進に関する論議」がほとんどないとのこと。現政権でも誰が男女共同参画担当大臣なのか、いったい何人目なのかといった状況から、男女共同参画の実現は道遠しという感じであるが、めげずに、多方面からアプローチしながら地道にやっていくしかないと思つた。（松本 記）



デート DV 防止啓発出前講座実施報告



つくば市N中学「家庭教育学級」にてデート DV 防止啓発出前講座を実施しました。

日時：平成 24 年 10 月 26 日（金）
10:00～

「DV 防止法」は被害者の保護を定めたものであり、加害者更生プログラムが法制化されていない日本では、防止が重要。早いうちからデート DV に関する知識に触れておくことが大事と、若い保護者の皆さんに問いかけました。

秋は恋の季節です

♡ つい最近のこと、NHK 朝の連続ドラマ「純と愛」のテレビをかけていた。朝食の後片付けをしていた私の耳に飛び込んできた言葉「僕と付き合ってください」すると「あなたはもし、私が子どもを産んだら育てることができるのですか」と切り返した。私は二人の会話に思わず耳を疑った。「付き合う」ということは性行為をすることも含むのか？私は「付き合う」ということは二人がお互い「共に生きていることを実感しながら、育て合っていく」ことだと思っていた。「付き合ってください」といわれたら「付き合うってなんですか」とって最初に聞いてみてくださいよ！

♡ 10月26日N中学家庭教育学級「デート DV 防止啓発講座～若者の意識調査から～」には約30名の保護者が集まり、城倉会員の講話に耳を傾けた。そしてグループでの話し合いとその発表が行われた。参加させていただいた私は「愛」は色々な形で人に当たってくるし、また、人は「愛」を与えている。この不思議な感情に改めて私は戸惑った。

秋は恋の季節だ。「お互い尊重し合い、対等な関係ですよ」と自分自身に言い聞かせた日だった。会場の皆さんありがとう！（栗栖 記）

女性団体連盟関連

女性団体等人材育成セミナー開催

政策立案、方針決定の参画の場において、コミュニケーション力や表現力、的確な伝達能力が求められます。実践的な学習の機会ですので是非ご参加ください。

- 日 時 12月7日(金) 午前・午後 12月8日(日) 午前・午後
会 場 女性プラザ男女共同参画支援室 3階会議室
(水戸市三の丸 1-7-41 TEL・FAX029-224-7780)
費 用 2000円(資料・昼食・飲物代など)
締 切 11月15日(木)
申込先 茨城県女性団体連盟 事務局 大森まで(連絡先上に同じ)
*全日程に参加できる方 団体より1名程度
講師 ナレーター 杉江 美生さん
「コミュニケーション能力をつけるために」
兵庫県播磨町 町長 清水 ひろ子さん
「まちづくりにメスを入れる女性の能力と魅力」
つくば学院大学学長 大島 慎子さん
「女性の力が社会を代える」



平成24年度茨城県女性団体連盟のつどい

- 日 時 平成25年2月8日(金) 午前10時~午後3時15分
会 場 茨城県女性プラザ(レイクエコー) 多目的ホール
(〒311-3824 行方市宇崎 1389 TEL 0299-73-3879)
主 催 茨城女性団体連盟
後 援 茨城県 茨城県教育委員会 行方市 銚田市 鹿島市 潮来市 神栖市
茨城新聞社 朝日新聞水戸総局 毎日新聞水戸支局 読売新聞水戸支局
茨城放送 NHK水戸放送局
参加費 800円(弁当代及び資料代)
テーマ 「女性が輝く」
次 第 開会行事 10:00~10:25
第1部 海外派遣 ハーモニーフライト帰国報告会
10:30~12:00
(昼食・バザー 12:00~13:10)
第2部 講演会
演題「女性が輝く」
講師 小原日登美さん (2012オリンピック金メダリスト)
第3部 みんなで歌いましょう 3~4曲



★編集後記★

初めての編集作業。パソコン画面とにらめっこしつつ、数mmの調整に四苦八苦。手ざわりがない世界は難しい…。皆さんに助けられ仕上げることができました。ありがとうございました。(N.I.)